

回答  
ANSWER

質問  
QUESTION



こまつ さち子  
西松 幸子

## 中学生を防災士に

## 町の防災士による出前講座で防災意識を高めたい

〔総務課長〕

**質問** 要支援者に対する対策は。

**回答** 役場福祉課と社会福祉協議会では、要支援者1人ひとりに「福祉ふれあいカード」の作成をし、個別避難計画を推進しています。警察署と民生委員に登録者の情報を提供し、災害が発生した場合には、避難・救助を行う体制になっています。

**質問** 総合防災訓練以外に何か取り組みは。

**回答** ①役場職員の防災士の活動があり、月に2回程度の勉強会や講習会を実施しています。地区の防災訓練や学校での防災訓練などに参加し、自主防災力、地域防災力の向上を目指し、活動をしています。②こども園や小中学校で、学期ごとに「命を守る訓練」、「水害・地震・火災を想定した避難訓練」や「保護者への引き渡し訓練」を実施しています。

**質問** 中学生の防災士育成事業については。

**回答** 自分も被災者だが被災者のままで終わるのではなく、被災者が復興者になるための一歩を歩みだすための

意識を中学生の中に根付かせるためにも、町の防災士らによる防災に関する出前講座などを通じて、防災意識の高揚を図っていききたいと考えています。

**質問** 今後の防災訓練の在り方は。

**回答** 役場職員の防災士と学校とが連携を進め、災害に強い小中学生を育成できたらと考えています。町の総合防災訓練においても、大人だけが参加する訓練ではなく、小中学生など若い世代の人も一緒に参加できる訓練内容を企画・立案していきたいと思えます。防災活動を有効に活用しながら、地域防災力の向上に努めていきます。



9月に行われた総合防災訓練（結小学校）で煙体験と三角巾による応急処置などを学びました